

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	津波建築システム小委員会	主 査 名：藤田 謙一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：遠藤 龍司
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	東日本大震災後に海洋建築委員会が提案した津波フローティングシェルターなど、津波に対する建築物のシステムについて、調査・研究を行う。 初年度：津波避難システムの事例調査、および津波避難建築物のイメージ構築 2 年度：浮上システムの調査 3 年度：日常時と非日常時（津波遡上時）の両方に必要な機能および性能の調査 4 年度：調査・研究成果の公表	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：藤田謙一（千代田化工建設）、幹事：矢代晴実（防衛大学校）、委員：遠藤龍司（職業能力開発総合大学校）、近藤典夫（日本大学）、桜井慎一（日本大学）、関洋之（梓設計）、菅原遼（日本大学）、濱本卓司（東京都市大学）、増田光一（日本大学）、松井徹哉（名古屋産業科学研究所）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/1-000/1040-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	海洋建築部門研究協議会「対津波建築への取り組みと今後の展望」 参加者数 40 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	浮上システムの調査に関しては小委員会活動だけではなく、大会研究協議会において、浮上システムの提案および現実化に向けての課題を挙げることができ、今年度の目標をほぼ達成できた。
委員会活動の問題点 ・課題	